

提携先	(株)秋川牧園	記入日	2008/8/8
登録消費材名	鶏肉、鶏肉加工品		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

鶏精肉が 2006 年度から認証を受け、S マーク認定品として取り扱われていますが、認定基準の改定(新基準)後も、更なる品質の向上、情報開示への取り組みに努めます。今年度(08 年 10 月予定)から新たにデポー(店舗)へ提供する鶏肉も「はりま」へ切り替わることとなりました。

また、環境負荷低減(コスト削減)を目的に排水処理工程に脱水機を設置し、堆積物を除去乾燥し、別途処理することで負荷を減らしました。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

基準項目登録の中で、衛生管理項目の中の「安全性に配慮した方法で計画的な防除の実施」で、一部条件を満たしていない薬剤を使用していましたが、今年度から条件を満たした薬剤を使用するように切り替えています。

廃棄物の有効利用として、羽や頭、内臓等の派生品をレンダリング業者に引き取ってもらい、フェザーミールなどの飼料や肥料としてリサイクルを行っています。

また、加工場(ミートセンター)において、低温管理強化を目的に新たに冷蔵庫を設置し、冷却機能を増強しました。

毎日の朝礼や定期的な従業員教育を行うとともに、前年に引き続き今年も異物混入対策として専門の業者を招き従業員を対象に講習会を実施しました。

衛生への取り組みを重要なテーマとして捉え、より一層のレベルアップを目指し、引き続き改善活動と衛生教育を繰り返し実施していきます。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

今年度中にデポー(店舗)へ提供する鶏肉が「はりま」へと切り替わることとなり、今後もグループ全体での生産性向上に努めてまいります。

また、省資源への取り組みとして排水処理工程(洗浄)で使用する井戸水の削減に向けた改良工事の検討を行っています。汚泥処理の際に施設で処理した水を再利用することで、井戸水の使用量を大きく減らすことが可能となります。